2022年度事業計画

自　2022年5月　1日

至　2023年4月30日

2022年3月9日

公益財団法人　小柳財団

2022年度事業計画

1. はじめに

本財団は生命科学の健全な発展に寄与し、技術革新と人間重視の両面からよりよい社会環境の実現に貢献したいと願っています。

化学、生化学及び生命科学の分野で農林水産分野、食品分野、生物学分野の研究者および研究機関の支援を行うことにより、広く「人間の健康と美」に貢献したいと願っています。

本事業では、既成の概念にとらわれず広い視野と新たな発想を持って、生命科学の分野において、既に存在する課題はもとより未来を見据えた潜在的な課題に取り組む研究活動を支援します。この目的を達成するために、本年度は下記の5点を基本方針として事業を推進します。

2. 2022年度方針

(1) 本財団の目的である「生命科学の研究活動の支援」に努め、研究者や研究機関が研究活動を行うための助成金交付を行い、研究活動の支援をします。

(2) 本年度も、過去の研究助成の募集の経験を生かして、募集要項等書類を修正し、前年の課題点を改善して公募を実施し、本財団の選考委員会の審査・審議を経て、研究助成金の交付先の内定を決定します。

(3) 公募方法としては、①本財団のホームページにて公募の実施、②助成財団を支援する他の公益財団のWEBサイトや他の無料のリリースサイトを積極的な活用、広く公募を図り財団の知名度のアップを目指します。

(4) 財団のパンフレットを活用し、活動内容を社会へ発信します。

(5) 前期に助成した研究者の研究成果を研究業績報告集として製作します。

3. 公益目的事業について

本財団の事業収入は、基本財産として保有する株式の配当収入に依存するところが大きく、2022年度においては、新型コロナウイルスの影響を見込んでいます。

この配当収入を本財団の目的である生命科学に関する分野で、「人間の健康と美」に関連する研究活動の支援に活用します。本年度は化学、生化学及び生命科学の分野における、農林水産分野、食品分野、生物学分野の研究活動で、「人間の健康と美」に関連する研究活動に助成します。

本事業年度研究助成予算の内訳は、「研究助成金」として、総額で3,000万円程度の支出を計画しております。

なお、応募件数の増加を図るため、本財団のホームページによる募集、他の財団のWEBサイトや無料のリリースサイトを活用し広く社会へ発信することで応募者の範囲拡大と知名度アップを図ります。

財団活動の、主なものは下記のとおりです。

(1) 2023年度研究助成金の募集の実施（2022年5月1日～7月30日・・7月31日消印有効）

(2) 2023年度研究助成金の応募案件の採択と選考結果の通知の実施（2022年9月下旬に承認予定）

(3) 2023年度研究助成金の交付の実施

(4) 助成金交付先より研究成果報告書回収（研究期間：2022年4月～2023年3月）

(5) 研究助成業績報告集の製作（研究期間：2021年4月～2022年3月）

(6) 研究助成金の実績公開（2022年4月末～5月初旬公開予定）

(7) 選考委員名簿の公開（2022年4月末～5月初旬公開予定）

(8) 財団のパンフレットの製作

4. 具体的な公益目的事業計画

化学、生化学及び生命科学に関する分野の中で、農林水産分野と食品分野と生物学分野の研究で、「人間の健康と美」に関連する研究活動を支援する。

(1) 前期の財団活動情報の公開（本財団HPの情報公開のページ）

①研究助成金募集活動（募集要項、申請書類等）

②研究助成金交付実績（研究者氏名と研究テーマ、助成金額）

③2021年度決算報告書類

・貸借対照表　　・財務諸表に対する注記

・正味財産増減計算書　　・財産目録

・正味財産増減計算書内訳書　　・監査報告書

④事業報告

⑤研究業績集（研究期間：2020年4月～2021年3月）

(2) 研究助成金募集(研究期間：2023年4月～2024年3月）の実施

① 研究助成金の募集に関連する資料のデータ化と本財団HPにアップ

※募集要項、申請書類、申請書類記入要項

② 本財団HPにて研究助成金の募集開始（2022年5月1日より）

③ 公益財団法人助成財団センター（JFC）のWEBサイトの活用

④ 無料のリリースサイトの活用

(3) 研究助成金応募案件の採択及び理事会承認

① 研究助成金の応募案件の採択作業

選考委員全員による応募案件の採点を、本年度の研究助成金の募集要項の条件に照らして採点（5点方式）をする。採点した結果を事務局でまとめ、応募案件採点表を作成し、選考委員に配布する。その後開催される選考委員会において、審査・協議を行い、助成金の交付内定先となる30件程度の採択候補を決定する。

但し平均点3点前後のボーダーラインとなる応募案件は、選考委員全員で応募書類の内容について、再審査と協議を行い、本年度の募集要項の条件と定款の事業目的に、適合しているか判断し、採択を決定する。

② 上記①で採択された応募案件の承認（2022年9月下旬に承認予定）

選考委員会にて採択した応募案件に対して、理事会にて承認を行う。

(a) 助成の件数は30件程度とする。

(b) 助成金交付額　1件当たり最大で100万円

但し、特に優秀な研究の場合200万円を交付する場合もあります。

③ 上記②で承認された交付内定先に選考結果の通知と第2次提出書類を送付する。

(a) 応募のあった研究者全員に選考結果の通知を送付する。（採択と不採択の通知）

(b) 内定先には第2次提出書類を送付する。（送付書類は下記のとおり）

a. オーバーヘッド（間接経費）の取り扱いのお願い

b. 誓約書

c. 助成金振込口座申請書

※bとcが第2次提出書類です。bの書類の受理もって内定から確定となります。

④ 研究助成金の交付実施（確定した助成先に交付する。）

2023年2月下旬から2023年3月上旬までに交付する。

⑤ 研究助成金の交付通知の送付（送付書類は下記のとおり）

a. 研究助成金交付通知

b. 研究助成金受領書

(4) 前期の助成金交付先より第4次提出書類の回収（研究期間：2022年4月～2023年3月）

・助成金交付先に第4次提出書類の送付とお知らせメール配信

①研究成果報告書（研究期間：2022年4月～2023年3月）

②助成金使用支出明細書（研究期間：2022年4月～2023年3月）

※上記の①と②は2023年4月28日必着

③研究業績の利用承諾書

④ 研究成果報告書と助成金使用支出明細書の内容確認

※研究成果報告書の内容と助成金使用支出明細書の内容を確認し、不備があれば再提出の依頼を行う。

(5)研究業績集の発行

研究助成金（研究期間：2020年4月～2021年3月）の交付先に対して、研究成果報告書等の利用について、承諾書を送付し、承諾を頂いた研究者の研究業績を刊行物として発刊する。承諾をして頂いた研究者全員に刊行物を送付する。

また、本財団のホームページの情報公開ページに研究業績集を公開する。

費用の内訳は下記の通りです。

研究年度	冊数	金　額
2021年度	100冊	33万円

(6)（公益）小柳財団の財団案内の製作

小柳財団の事業目的を広くPRするために、財団案内を製作し知名度アップを目指します。

5. 事業資金について

2022年度も所有株式の配当が予定されていますので、基本財産運用益の受取配当金として、4,002万円を予算計上しています。

6. 資金調達及び設備投資について

本事業年度においては、資金調達及び設備投資の計画はありません。